

野村万作・野村萬斎 狂言公演

今回は「竹生島」づくしでお贈りします。

びわ湖ホール改修につき……
今年は**米原**で、笑いましょう!

無断で旅に出た太郎冠者を叱った主人は、
竹生嶋参りの話を聞くと……。
言葉遊びが素朴な笑いを誘います。

樋の酒
野村万作

出かける主人からそれぞれに蔵の番を言いつけられた太郎冠者と次郎冠者。
酒蔵の番をする次郎冠者は、なんと太郎冠者にも酒を飲ませたいと考えた結果……。

通常は、能「竹生島」の替間として上演しますが、
今回はこの部分だけ独立して上演します。
大変珍しい演目です。

ちくぶしままごり
竹生嶋参
野村裕基

ちくぶしままごり
竹生嶋道者
野村萬斎

2026年
7月**30**日(木)
31日(金)

両日とも14:00開演(13:30開場/16:00終演)
滋賀県立文化産業交流会館
イベントホール内特設舞台「長栄座」

入場料金 一般4,400円/青少年(24歳以下)2,200円
シアターメイツ1,100円

【一般発売】4月5日(日)10:00~

【友の会優先発売】4月3日(金)10:00~

(びわ湖ホールネットチケット、電話受付のみ)

チケット取扱い・問い合わせ先

- びわ湖ホールチケットセンター(6月末まで10:00~19:00、7月以降10:00~17:00。火曜休、休日の場合はその翌日) TEL.077-523-7136 インターネット受付:<https://www.biwako-hall.or.jp/>
- 滋賀県立文化産業交流会館(平日8:30~19:00、土日8:30~17:00 月曜休館、休日の場合はその翌日) TEL.0749-52-5111 インターネット受付:<https://www.s-bunsan.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>(Pコード 540-884) / ●ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード 56294) / ●e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

主催:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 連携:滋賀県立文化産業交流会館 後援:滋賀県教育委員会

一竹生島
JR米原駅から徒歩7分!

滋賀県立文化産業交流会館
びわ湖ホール(7月~改修工事)

(びわ湖ホール 長期休館のお知らせ)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは、2026年7月から2028年2月末まで大規模改修工事のため、全館休館します。休館期間中は、県内外のホール等と連携して舞台芸術等をお届けします。

「竹生嶋道者」2016.1.4 大槻能楽堂新春公演より
(撮影:森川ミツル)

野村万作・野村萬齋 狂言公演

解説 野村萬齋

ちくぶしままいり 竹生嶋参

太郎冠者 野村裕基 主 深田博治 後見 中村修一

無断で旅に出た太郎冠者を叱りにきた主人は、竹生嶋参りをしてきたと聞き、気を取り直して話を聞くことにする。太郎冠者は、辰・犬・猿・蛙・くちなわ(蛇)が集まり、辰が立つ、犬が去ぬる、猿が去る、蛙が帰ると秀句(洒落)を言ったと語る。最後にくちなわの秀句を聞かれた太郎冠者は…。言葉遊びで成り立った素朴な笑いを誘う演目です。竹生島は、琵琶湖で2番目に大きい島です。島の名は「(神を)齋く(いつく)島」の「いつくしま」が「つくぶしま」と変じ「竹生島」になったと言われています。

ひ樋の酒

太郎冠者 野村万作 主 飯田豪 次郎冠者 高野和憲 後見 内藤連

主人が太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の番をするよう言いつけて出かける。次郎冠者が早速酒蔵の酒を飲み始めるので、太郎冠者はうらやましくて仕方がない。そこで次郎冠者は、酒蔵から米蔵へ樋を渡して酒を流し、太郎冠者にも飲ませることに成功する。すっかり調子に乗った二人は…。本舞台と橋掛かりをそれぞれ蔵に見立て、能舞台ならではの構造を上手く活かした狂言です。樋から酒を飲む場面では賑やかな狂言小舞がいくつも登場する酒宴も見どころです。

かぐら すばやし 素囃子神楽

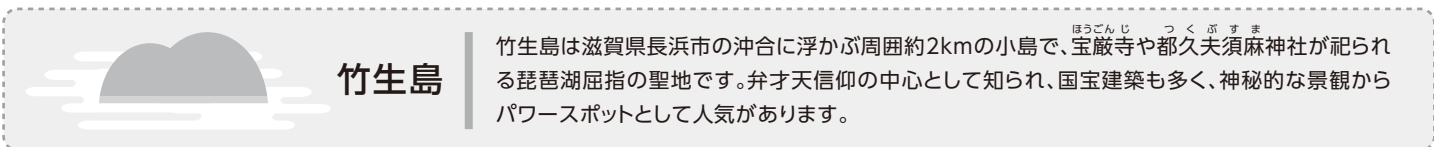
笛 杉信太郎 小鼓 吉阪倫平 大鼓 河村凜太郎 太鼓 井上敬介

ちくぶしま 竹生島 道者

能力 野村萬齋 道者 中村修一 道者 内藤連 道者 飯田豪 道者 野村裕基 後見 深田博治

竹生島の能力(社人)が竹生島弁財天のためたい謂れを語るため、参詣の人を待っていると、そこへ北方から2組の夫婦(道者)が竹生島参りにやってくる。夫婦は能力から竹生島弁財天についてさまざまなことを聞き、数々の宝物を見せられる。そして、弁財天は頭上に夫を乗せていると聞いた妻は…。

能「竹生島」の替間として上演していますが、今回はその部分のみ独立しての上演になります。



竹生島

竹生島は滋賀県長浜市の沖合に浮かぶ周囲約2kmの小島で、宝蔵寺や都久夫須麻神社が祀られる琵琶湖屈指の聖地です。弁才天信仰の中心として知られ、国宝建築も多く、神秘的な景観からパワースポットとして人気があります。



野村 万作 のむらまんざく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章受章。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で

芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞等多数の受賞歴を持つ。2025年3月NHK放送文化賞受賞。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』『敦一山日記・名人伝』等、新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。



野村 萬齋 のむらまんざい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山日記・名人伝』『子午線の祀り』能狂言『鬼滅の刃』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。2023年びわ湖ホールで上演されたオペラ『こうもり』の初演出が好評を博した。

現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、2024年5月坪内逍遙大賞を受賞。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター。東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基 のむらゆうき

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に『靱猿』で初舞台後、子方として

国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を抜き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台を勤めている。2023年3月には世田谷パブリックシアター『ハムレット』でタイトルロールを演じ、活動の場を広げている。

シアターメイツ会員募集 入会金・年会費無料

6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会できます。優待対象公演を青少年料金の約半額でご覧いただけるなど、特典がいっぱい! 詳しくはびわ湖ホールのホームページをご覧ください。

<https://www.biwako-hall.or.jp/>



※6歳以上のお子さまからご入いただけます。※シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンター(電話・窓口)にてお取り扱いします。※びわ湖ホール友の会優先販売期間中の窓口の販売はありません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・引き渡しをお断りいたします。やむを得ない事情により、公演内容等が変更になる場合があります。

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

TEL.077-523-7133(代)

<https://www.biwako-hall.or.jp/>

[2026年6月末まで] 10:00~19:00 大津市打出浜15-1

[2026年7月以降] 10:00~17:00 大津市打出浜14-30

Oh!Me大津テラス内

火曜日休、休日の場合はその翌日。

※移動に伴いやむをえず臨時休館となる場合がございます。

ご了承ください。



滋賀県立文化産業交流会館

Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

TEL:0749-52-5111 FAX:0749-52-5119

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137

※月曜休館 休日の場合はその翌日

- 電車・バスでお越しの方 / JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線「米原駅」西口より徒歩7分
- お車でお越しの方 / 北陸自動車道米原インターより約10分、名神高速道路彦根インターより約15分
- 駐車場数360台 ※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

